



ふれあい 放水路

2005
(平成17年)
第135号
6月



【出雲市馬木町】

緑萌ゆる風景

桜の季節が終わるとすぐ、緑萌ゆる新緑の季節が巡って来ます。

景色は淡い緑色に包まれ、吹き渡る風も清々しく、木々や草花から芽吹いた若葉はまばゆいほどにみずみずしい光を放っています。

新緑の匂いに誘われるように野山では小鳥たちの賑やかなさえずりが毎日のようにこだましており、また、田畑では虫たちが新緑に包まれながら盛んに活動しています。新緑の季節はすべての生物にとって生命力に満ち溢れた季節ともいえるでしょう。

今後、夏が近づくとつれ、木々の緑は深みを増し、辺りは涼やかな夏景色へと染まっていきます。

季節のうつろいは早く、梅雨明けも間近、そろそろ夏の気配も近づいてきました。

水防工法の紹介

6月中旬から9月下旬までは、「梅雨前線」や「台風」などにより大雨が降り、河川が増水して堤防などが被害を受けることがあります。そのため緊急な対応が必要であり、昔から用いられている水防工法を現在でも踏襲し、毎年地域の『水防団』がその工法の研鑽に励んでいます。

今回は、6月4日に出雲市武志町の斐伊川河川敷で行われた「斐伊川水防演習」で実施した水防工法の一部を紹介します。

まずは土のうづくりから・・・



水防活動の中で、最も必要とされるのが袋に土砂を詰め、この土のう袋です。専用の器具を使い、効率的に一度にたくさんの土のうを作ることができます。

災害の様子



【昭和18年9月の災害状況】

この年、台風26号が山陰地方を襲来し、斐伊川が氾濫。堤防決壊などの大きな被害が発生しました。（※写真は「出雲結い」を設置している様子）



【「出雲結い」設置作業の様子】

ピックアップ

出雲結い工



昔から出雲地方に伝わる独特の工法で、決壊箇所に長い丸太を三角形に組み立て、川側に木の枝や竹などを張り付け、その前に土のうを積みみます。水流を利用して出雲結いに砂を溜め、水をせき止めます。

主な水防工法

水防工法には、およそ40もの工法がありますが、その中で主な5つの工法を紹介します。

積土のう工



堤防の上に土のうを積み上げて、水が堤防を越えるのを防ぐ方法です。水防工法の基本といえる工法で、一つの土のうに30～50kgの土砂を詰めます。

月の輪工



堤防の裏側に水が漏れだした時、半円形に土のうを積んで、河川の水位と漏水口との水位差を縮めて、水漏れの拡大を防ぎます。

木流し工



川の流が急な時、枝葉のよく茂った木を川に流し、水の勢いを緩やかにして堤防を守ります。

シート張り工



水の流で堤防が削り取られたり、水が漏れたりしないように、シートを張って堤防を守ります。

ふれあい放水路

通信

環境学習指導員 講習会開催

五月二十八日、県立自然公園立久恵峡で、斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会及び神戸川流域環境学習推進協議会の主催による指導者講習会を開催しました。

指導者講習会とは、小・中学生を対象に行っている環境学習について、河川調査の指導ができるようにと斐伊川・神戸川流域の教職員を対象として毎年行っています。

今回は、約三十名の先生が参加され、水質の分析を行う「パックテスト」や水辺の生き物についての調査方法を学びました。

今回の講習により、それぞれの学校の環境学習で子供たちは川とふれあう良い機会が増えていくのではないのでしょうか。



1000年の森づくり 植樹祭開催

六月七日、斐伊川放水路事業用地内の開削部にあたる上塩冶町地内で、第七回斐伊川放水路「1000年の森づくり」植樹祭を開催しました。

今年は、塩冶小学校四年生の児童等約二百名の参加のもと、その土地に自生する十六種およそ四百本の広葉樹の苗木を植樹しました。児童らは、毎回ご指導いただいた横濱国立大学名誉教授の宮脇昭先生みやわきあきひろの指導を受け、植栽の方法を学びながら土や植物に触れ、一生懸命作業に取り組んでいました。

最近、子供たちが自然とふれあう機会も減りつつあるようですが、この植樹を通して、自然環境へ目を向け、自然を大切にすることを養ってもらえればと思います。



斐伊川放水路の工事実施状況

(平成17年5月以降の発注工事)



工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 工事用道路管理工事	(株) 谷本組	自 H17年6月29日 至 H18年3月10日

**国土交通省中国地方整備局
出雲河川事務所**
〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地
☎(0853)21-1850
メールアドレス E-mail: izumo@info.cgr.mlit.go.jp
ホームページ http://www.izumokasen-mlit.go.jp/

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。
問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路推進室 事業対策官

7月は「河川愛護月間」です 川・湖をきれいにしましょう